

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年1月29日

東

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所
 コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,308	△8.9	1,569	△23.4	1,537	△22.9	1,017	△30.1
2020年3月期第3四半期	13,507	12.2	2,049	27.0	1,995	24.2	1,456	28.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 696百万円(△50.2%) 2020年3月期第3四半期 1,397百万円(7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	38.58	—
2020年3月期第3四半期	55.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	24,572	17,424	70.6
2020年3月期	24,917	16,993	67.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,351百万円 2020年3月期 16,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	△3.8	2,200	△16.8	2,100	△18.7	1,600	△26.1	60.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	26,475,880株	2020年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	91,997株	2020年3月期	91,845株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	26,383,960株	2020年3月期3Q	26,397,851株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
販売実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による影響を受け、当社グループの経済活動は大きく制限されました。その結果、売上高は12,308百万円（前年同四半期比1,198百万円減、同8.9%減）、営業利益1,569百万円（前年同四半期比479百万円減、同23.4%減）、経常利益1,537百万円（前年同四半期比457百万円減、同22.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,017百万円（前年同四半期比438百万円減、同30.1%減）となりました。

このような新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中で、日本国内の売上高は前年同四半期比0.3%増の8,082百万円となりました。しかしながら米国では新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、米国の外部顧客への売上高はUSドルで前年同四半期比20.1%減、円換算後は前年同四半期比22.4%減の4,226百万円となりました。

人工関節分野は、新型コロナウイルス感染症の影響により日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比14.4%減の7,464百万円となりました。日本国内の売上高は前年同四半期比1.2%減と前年並みを維持できましたが、人工関節置換術の延期・中止の影響を大きく受けた米国の売上高は前年同四半期比22.4%減となりました。

骨接合材料分野は、2020年4月発出の緊急事態宣言に伴う外出制限などの影響により前年比で症例数が減少し、日本国内の売上高は前年同四半期比6.5%減の2,645百万円となりました。なお「ASULOCK」は2020年7月から徐々に出荷制限を解除しており、医療機関からの需要に対し一定の制約はあるものの、その供給は回復傾向にあります。

脊椎固定器具分野は新型コロナウイルス感染症の影響による脊椎固定術の延期・中止がありましたが、日本国内において「KMC Kyphoplasty システム」が引き続き好調に推移したことから、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比16.2%増（日本国内17.0%増、米国40.1%減）の1,918百万円となりました。

売上原価は、新型コロナウイルス感染症の影響による米国売上の減少等により自社製品売上高比率が低下したことなどから、売上原価率は悪化し31.9%（前年同四半期は28.6%）となりました。

販売費及び一般管理費合計は、米国での売上減少に伴い支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）が減少したこと、また新型コロナウイルス感染症の影響により営業活動が制限され旅費交通費や販売促進費等が減少したことから、全体で前年同四半期比10.4%減の6,813百万円と減少しました。なお売上高販管費率は55.4%（前年同四半期は56.3%）に低下しました。

営業利益は、売上高の減少等により、1,569百万円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

経常利益は、受取手数料8百万円など営業外収益を14百万円計上し、支払利息32百万円など営業外費用を46百万円計上した結果、1,537百万円（前年同四半期比22.9%減）となりました。

特別損益は、医療工具などの固定資産除却損28百万円を特別損失に計上しました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,017百万円（前年同四半期比30.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

売上高は8,082百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は960百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

②米国

売上高は7,077百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は709百万円（前年同四半期比36.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ344百万円減少し、24,572百万円となりました。主な減少は、現金及び預金270百万円、繰延税金資産98百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ776百万円減少し、7,147百万円となりました。主な減少は、買掛金229百万円、短期借入金224百万円、賞与引当金128百万円、長期借入金157百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ431百万円増加し、17,424百万円となりました。主な増加は、利益剰余金753百万円で、主な減少は為替換算調整勘定320百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月23日に開示いたしました当期における通期の連結業績予想に変更はありません。

以下、日本及び米国における新型コロナウイルス感染症の連結業績予想に及ぼす影響に関する説明です。

(日本)

日本国内においては2020年4月3日に日本整形外科学会より「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う整形外科手術のトリアージについて」が提示され、外傷・解放骨折などが優先され、慢性疾患である人工関節置換術や脊椎固定術は延期・中止の影響を大きく受けるものと想定していました。骨接合材料分野は、2020年4月7日に発出された緊急事態宣言による外出制限などの影響から症例数が想定以上に減少しましたが、骨接合材料分野よりも大きな影響を受けると想定していた人工関節分野及び脊椎固定器具分野の第3四半期累計期間の症例数は、前年を上回りました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加し、2021年1月に緊急事態宣言が首都圏など人口密集地域に再発出されたこと、また患者の医療機関訪問に対する感染リスクが更に懸念されていることから、第4四半期も症例数が単純に回復することはないと思われま

(米国)

米国では2020年3月に発表された「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」により緊急性のない手術(Elective Surgery)の延期・中止が医療機関へ指示されたことから、4月は人工関節置換術が行われず、5月以降、新型コロナウイルス感染症の患者数の増加率が低下したことに伴う手術の再開により、症例数が回復しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染者数が11月から急激に増加し、医療機関が再度手術の延期・中止を決め症例数が再び減少しております。また、外来患者数に関しても院内感染リスクを懸念する患者が医療機関への訪問を控えており、第4四半期も症例数が単純に回復することはないと思われま

新製品については、日本において上半期に脊椎固定器具分野の新製品である「VusionTi 3Dケージ」の施設限定販売及び人工関節分野の新製品である「Entrada ヒップシステム」の全国展開を開始し、また第3四半期に脊椎固定器具分野の新製品である「Pisces スパイナルシステム」の施設限定販売を開始しました。米国においても施設限定販売を行っていた人工関節分野の「BKS Revision Sleeves」、「BKS Revision TibialCones」を2020年11月に予定通り全米展開しております。

しかしながら、これまで新型コロナウイルス感染症の影響による医療機関への立入制限から営業活動が大幅に制限されたほか、Educationプログラムや学会・セミナー等が中止となった状況が継続するものと見込んでおります。医療従事者に対し新製品のインプラントや手術工具を対面で説明し実際に製品に触れて頂くことが難しい状況が続いており、新製品導入に伴う拡販効果は期初の見通しを下回るものと思われま

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,512,870	2,242,489
受取手形及び売掛金	4,428,726	4,469,718
商品及び製品	7,347,313	7,352,798
仕掛品	233,781	242,077
原材料及び貯蔵品	1,123,342	1,151,626
その他	201,245	135,930
貸倒引当金	△12,385	△1,195
流動資産合計	15,834,894	15,593,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,408	721,106
機械装置及び運搬具(純額)	308,885	340,624
工具、器具及び備品(純額)	4,473,387	4,444,612
土地	1,988,235	1,986,903
その他	29,898	10,470
有形固定資産合計	7,526,815	7,503,717
無形固定資産	282,196	260,797
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,223,318	1,124,529
その他	49,999	89,822
貸倒引当金	△12	—
投資その他の資産合計	1,273,306	1,214,352
固定資産合計	9,082,318	8,978,867
資産合計	24,917,213	24,572,313

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	808,073	578,954
短期借入金	1,692,070	1,467,604
リース債務	32,139	32,209
未払法人税等	177,163	279,738
未払費用	397,820	399,651
未払金	275,152	245,329
割賦未払金	3,097	—
賞与引当金	175,332	47,008
役員賞与引当金	51,102	34,948
その他	104,095	77,884
流動負債合計	3,716,047	3,163,329
固定負債		
長期借入金	2,337,232	2,179,305
リース債務	70,621	46,455
退職給付に係る負債	1,140,540	1,184,886
役員株式給付引当金	56,840	65,992
資産除去債務	28,436	28,721
長期預り金	7,000	7,000
繰延税金負債	567,184	471,718
固定負債合計	4,207,855	3,984,079
負債合計	7,923,903	7,147,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	11,305,538	12,058,928
自己株式	△111,259	△111,539
株主資本合計	16,783,237	17,536,347
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	21,542	△7,533
為替換算調整勘定	325,813	5,071
退職給付に係る調整累計額	△202,293	△182,093
その他の包括利益累計額合計	145,062	△184,554
非支配株主持分	65,010	73,112
純資産合計	16,993,309	17,424,904
負債純資産合計	24,917,213	24,572,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	13,507,314	12,308,764
売上原価	3,856,440	3,925,345
売上総利益	9,650,873	8,383,419
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	228,988	206,350
販売促進費	263,991	184,526
広告宣伝費	46,890	26,825
給料及び手当	2,240,778	2,215,289
退職給付費用	86,931	96,754
法定福利費	207,934	215,874
福利厚生費	141,784	138,694
貸倒引当金繰入額	△264	△11,201
旅費及び交通費	227,907	68,502
減価償却費	907,912	898,425
租税公課	94,800	98,740
研究開発費	353,350	335,904
支払手数料	1,804,842	1,425,946
その他	995,715	913,049
販売費及び一般管理費合計	7,601,565	6,813,683
営業利益	2,049,308	1,569,736
営業外収益		
受取利息	122	120
受取手数料	8,532	8,532
為替差益	3,246	1,932
その他	9,737	4,029
営業外収益合計	21,639	14,614
営業外費用		
支払利息	65,965	32,379
シンジケートローン手数料	4,425	5,997
その他	5,404	8,338
営業外費用合計	75,795	46,715
経常利益	1,995,152	1,537,635
特別利益		
受取補償金	103,127	—
特別利益合計	103,127	—
特別損失		
固定資産除却損	26,551	28,265
訴訟和解金	33,706	—
特別損失合計	60,257	28,265
税金等調整前四半期純利益	2,038,021	1,509,370
法人税、住民税及び事業税	449,724	447,212
法人税等調整額	113,491	30,606
法人税等合計	563,216	477,818
四半期純利益	1,474,805	1,031,551
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,811	13,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,456,994	1,017,998

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,474,805	1,031,551
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△18,029	△29,075
為替換算調整勘定	△76,949	△326,192
退職給付に係る調整額	17,950	20,200
その他の包括利益合計	△77,029	△335,068
四半期包括利益	1,397,776	696,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,381,250	688,381
非支配株主に係る四半期包括利益	16,525	8,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,057,745	5,449,568	13,507,314	—	13,507,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,757	2,483,654	2,485,411	△2,485,411	—
計	8,059,503	7,933,223	15,992,726	△2,485,411	13,507,314
セグメント利益	862,434	1,109,450	1,971,885	77,423	2,049,308

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去77,423千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,082,444	4,226,319	12,308,764	—	12,308,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,851,581	2,851,581	△2,851,581	—
計	8,082,444	7,077,900	15,160,345	△2,851,581	12,308,764
セグメント利益	960,960	709,670	1,670,630	△100,893	1,569,736

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△100,893千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	8,082,444	100.3
	人工関節	3,250,167	98.8
	骨接合材料	2,645,660	93.5
	脊椎固定器具	1,906,371	117.0
	人工骨	154,634	84.3
	その他	125,610	99.6
	米国	4,226,319	77.6
	人工関節	4,214,069	77.6
	脊椎固定器具	12,250	59.9
合計		12,308,764	91.1

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税等は含まれておりません。